

令和6年度 全国学力・学習状況調査 江津市の結果概要

I 調査の概要

江津市教育委員会 学校教育課

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

(1) 国・公・私立学校の以下の学年の原則として全児童生徒を対象とする。

ア 小学校調査

小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年

イ 中学校調査

中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年

(2) 特別支援学校及び小中学校等の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、調査の対象となる教科について、以下に該当する児童生徒は、調査の対象としないことを原則とする。

ア 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒

イ 知的障がい者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒

3 調査実施日

令和6年4月18日(木)

4 調査の内容

(1) 教科に関する調査

国語、算数・数学はそれぞれ次の①と②を一体的に出題

①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等

②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

(2) 質問紙調査

| 児童生徒に対する調査 | 学校に対する調査 |
|------------------------------|------------------------------------|
| 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 | 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 |

5 調査を実施した学校数・児童生徒数

| 校種 | 学校数 | 児童生徒数 |
|-----|-----|-------|
| 小学校 | 7校 | 151名 |
| 中学校 | 4校 | 151名 |

II 小学校の結果

(1) 各教科に関する調査の結果

| | 平均正答率(%) | | | | | | |
|----|----------|-----|------|------|---|-------|---|
| | 江津市 | 島根県 | 全国 | 県との差 | | 全国との差 | |
| 国語 | 66 | 67 | 67.7 | -1.0 | - | -1.7 | - |
| 算数 | 60 | 61 | 63.4 | -1.0 | - | -3.4 | ▲ |

○：市が全国・県を2ポイント以上、上回るもの
 ー：市と全国・県の差が2ポイント未満のもの
 ▲：市が全国・県を2ポイント以上、下回るもの

【小学校・国語】

(・概要 ○成果 ●課題)

・平均正答率は全国平均、県平均とはほぼ同等であった。

・学習指導要領の内容「言葉の特徴や使い方に関する事項」「読むこと」は全国平均をやや上回ったが、「情報の取扱いに関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」は全国平均を下回っている。

○「漢字を文の中で正しく使う」ことはできている。

○物語文で「人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする」ことはできている。

●情報と情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解して使うことに課題が見られる。

●「目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討する」ことに課題が見られる。

<分類・区分別集計結果>

| 学習指導要領の 内容 | 対象 設問数(14) | 平均正答率(%) | | | | | | |
|-------------------------|---------------|----------|------|------|-------|---|-------|---|
| | | 江津市 | 島根県 | 全国 | 江津—島根 | | 江津—全国 | |
| (知識及び技能)言葉の特徴や使い方に関する事項 | 4 | 65.7 | 64.0 | 64.4 | +1.7 | - | +1.3 | - |
| (知識及び技能)情報の扱い方に関する事項 | 1 | 82.8 | 86.1 | 86.9 | -3.3 | ▲ | -4.1 | ▲ |
| (知識及び技能)我が国の言語文化に関する事項 | 1 | 73.5 | 75.3 | 74.6 | -1.8 | - | -1.1 | - |
| (思考力、判断力、表現力等)話すこと・聞くこと | 3 | 56.7 | 57.3 | 59.8 | -0.6 | - | -3.1 | ▲ |
| (思考力、判断力、表現力等)書くこと | 2 | 65.2 | 67.5 | 68.4 | -2.3 | ▲ | -3.2 | ▲ |
| (思考力、判断力、表現力等)読むこと | 3 | 69.8 | 69.0 | 70.7 | +0.8 | - | -0.9 | - |

【小学校・算数】

・平均正答率は全国平均をやや下回り、県平均とはほぼ同等である。

・平均正答率が二極化している。

・全領域について全国平均を下回っている。

○「円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ること」や「簡単な二次元の表を読みとり、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理すること」はできている。

●除数が小数である場合の除法に課題がある。

<分類・区分別集計結果>

| 学習指導要領の 領域 | 対象 設問数(16) | 平均正答率(%) | | | | | | |
|---------------|---------------|----------|------|------|-------|---|-------|---|
| | | 江津市 | 島根県 | 全国 | 江津—島根 | | 江津—全国 | |
| 数と計算 | 6 | 61.5 | 63.5 | 63.4 | -2.0 | ▲ | -1.9 | ▲ |
| 図形 | 4 | 63.6 | 64.5 | 66.3 | -0.9 | - | -2.7 | ▲ |
| 測定 | 0 | | | | | | | |
| 変化と関係 | 3 | 45.3 | 46.0 | 51.7 | -0.7 | ▲ | -6.4 | ▲ |
| データの活用 | 4 | 60.4 | 60.2 | 61.8 | +0.2 | - | -1.4 | - |

(2) 児童生徒質問紙・学校質問紙調査(意識調査)

学校生活・自尊感情・自己有用感に関わること

- 「自分には、よいところがある」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」「自分とは違う意見について考えるのは楽しい」「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童が全国・県を上回っている。
- 「学校に行くのは楽しいと思う」と回答した児童が全国・県を上回っている。
- 「人が困っているときは、進んで助けている」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童が全国・県を下回っている。

学習に関わること

- 「国語・英語・理科の勉強が好きである」「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習に取り組んでいる」と回答した児童が全国・県を上回っている。
- 「国語・算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した児童が全国・県を上回っている。
- 「5年生までの学習の中で週3回以上 PC・タブレットなどの ICT 機器を活用した」と回答した児童が全国・県を下回っている。

Ⅲ 中学校の結果

(1) 教科に関する調査の結果

| | 平均正答率(%) | | | | |
|----|----------|-----|------|--------|--------|
| | 江津市 | 島根県 | 全国 | 県との差 | 全国との差 |
| 国語 | 54 | 57 | 58.1 | -3 ▲ | -4.1 ▲ |
| 数学 | 48 | 49 | 52.5 | -1.0 - | -4.5 ▲ |

○：市が全国・県を2ポイント以上、上回るもの
 -：市と全国・県の差が2ポイント未満のもの
 ▲：市が全国・県を2ポイント以上、下回るもの

【中学校・国語】

- ・平均正答率は全国・県より下回っている。
- ・領域別では知識及び技能が問われたものは平均正答率が全国、県を下回っている。
- 「必要に応じて質問しながら話の内容を捉えること」、「文章と図を結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること」はできている。
- 「意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること」、物語文で「文の成分の順序や照応について理解すること」に課題がある。

<分類・区分別集計結果>

| 学習指導要領の内容 | 対象 設問数(15) | 平均正答率(%) | | | | | | |
|-------------------------|---------------|----------|------|------|--------|--------|---|--|
| | | 江津市 | 島根県 | 全国 | 江津—島根 | 江津—全国 | | |
| (知識及び技能)言葉の特徴や使い方に関する事項 | 3 | 52.3 | 57.2 | 59.2 | -4.9 ▲ | -6.9 ▲ | ▲ | |
| (知識及び技能)情報の扱い方に関する事項 | 2 | 52.6 | 58.5 | 59.6 | -5.9 ▲ | -7.0 ▲ | ▲ | |
| (知識及び技能)我が国の言語文化に関する事項 | 1 | 75.5 | 79.4 | 75.6 | -3.9 ▲ | -0.1 - | - | |
| (思考力、判断力、表現力等)話すこと・聞くこと | 3 | 57.0 | 56.2 | 58.8 | +0.8 - | -1.8 - | - | |
| (思考力、判断力、表現力等)書くこと | 2 | 58.9 | 63.4 | 65.3 | -4.5 ▲ | -6.4 ▲ | ▲ | |
| (思考力、判断力、表現力等)読むこと | 4 | 46.9 | 46.2 | 47.9 | +0.7 - | -1.0 - | - | |

【中学校・数学】

・平均正答率について全国を下回り、県平均とはほぼ同等である。

・全ての領域で平均正答率が全国を下回っている。

○「一次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて理解すること」はできている。

●「統一的・発展的に考え、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明すること」や「与えられたデータから最頻値を求めること」に課題がある。

<分類・区分別集計結果>

| 学習指導要領の 領域 | 対象 設問数(16) | 平均正答率(%) | | | | | | |
|---------------|---------------|----------|------|------|-------|-------|------|---|
| | | 江津市 | 島根県 | 全国 | 江津—島根 | 江津—全国 | | |
| 数と式 | 5 | 45.5 | 45.1 | 51.1 | +0.4 | - | -5.6 | ▲ |
| 図形 | 3 | 34.7 | 37.7 | 40.3 | -3.0 | ▲ | -5.6 | ▲ |
| 関数 | 4 | 58.2 | 58.3 | 60.7 | -0.1 | - | -2.5 | ▲ |
| データの活用 | 4 | 49.5 | 52.6 | 55.5 | -3.1 | ▲ | -6.0 | ▲ |

(2) 児童生徒質問紙・学校質問紙調査(意識調査)

学校生活・自尊感情・自己有用感に関わること

○「人が困っているときは、進んで助けている」、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」、「地域や社会をよくするために何か」、「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と回答した生徒が全国・県を上回っている。

○「学級活動における学級での話し合いを活かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる」と回答した生徒が全国・県を上回っている。

●「将来の夢や目標を持っている」、「自分と違う意見について考えるのは楽しい」、「学校に行くのが楽しい」と回答した生徒が全国・県を下回っている。

学習に関わること

○「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と回答した生徒は全国・県を上回っている。

○「国語・数学の勉強が好きである」と回答した生徒が全国・県を上回っている。

●「1、2年生の時に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を週3回以上活用した」と回答した生徒は全国を下回っている。

IV 今後の対応

全国学力・学習状況調査結果をふまえ、市内小中学校で次のような取組が推進されるよう学校訪問等を行い各学校への支援を行う。

◇授業の質の充実

・各校で学力調査の成果(強み)や課題(弱み)を把握し、結果に基づいた個別最適な補充学習や発展学習等を進める。

・学習指導要領で育成を目指す資質・能力を明確にした授業設計を行う。

・子ども達が知識及び技能を確実に身に付け、それらを活用しながら主体的・対話的で深い学びの視点での組織的な授業改善が推進されるよう、「江津市学力育成サイクルプラン」の充実を図る。

・組織的に対策を立て、各学年、各教科等との連携をしながら、学校全体で児童生徒の学習内容の定着を図る。

・授業で学んだ知識及び技能を子どもたちが繰り返し活用しながら、根拠をもとに自分の考えを表現したり友だちの考

えと比較・検討したりする場面を設定する。

- ・児童生徒の個別最適な学びを保証し、自分に合った学び方を自分で選択できるようにまた児童生徒の学びを深めるために ICT 等を活用する。

◇家庭学習の充実

- ・家庭学習の内容充実、習慣化を図るために、学校での学びと関連した課題や子どもが主体的に取り組めるような課題の提示をする。
- ・子ども達が今後も自立した学習者であり続けるために自分に合った学習方法で学べるように個に応じた家庭学習ができるように ICT を積極的に活用する。

◇地域に関わる学習の充実

- ・児童生徒の地域への愛着や貢献意欲を高めるために、引き続き「江津市ふるさと・キャリア教育」を推進する。
- ・児童生徒自らが問題を発見し、課題解決への道筋を見通しながら、児童生徒の思考の流れに沿った探究活動が行われる授業を行う。